平成26年度 第2回 赤浜地域復興協議会

資料2 赤浜の将来像について

- 1. 大槌町復興計画基本計画での位置づけ
- 2. 赤浜の将来像(3D映像)
- 3. 地域活動事例
- 4. グループ協議の進め方

1. 大槌町復興計画基本計画での位置づけ

大槌町は平成26年3月に 復興計画基本計画を改訂 した。

復興戦略体系(まち全体の 方針)と、地域別の復興ま ちづくりの方向性が示され ている。



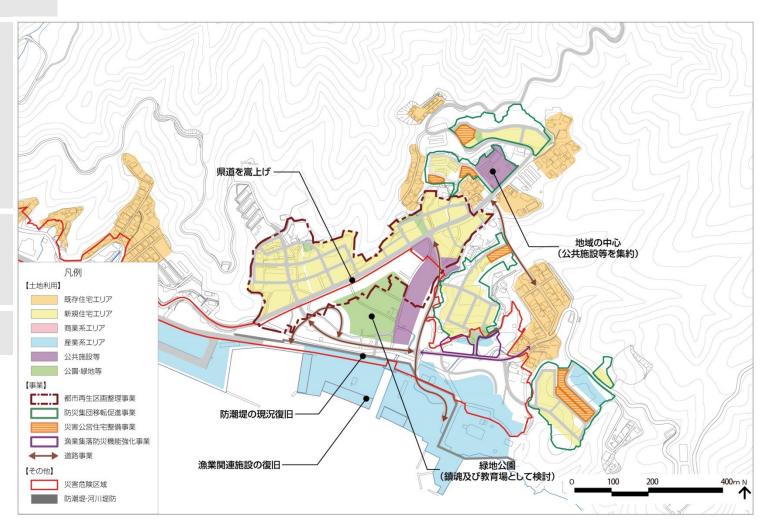
町全体では、適切な機能配置・交通の整備により コンパクトなまちを形成するとしている。 赤浜では、観光ゾーンが位置づけられている。



観光ゾーンとは

- ・観光産業については、大槌町がこれから復興を進めていくうえで重要な産業であると認識し、観光振興に資する資源を町内各地で発掘し、訪れてもらえる場所を多く創造していきます。
- ・浪板海岸から吉里吉里海岸一帯及び蓬莱島等の 臨海部は、海を有する魅力的な観光ゾーンと位置 づけ、周辺環境の整備を図り、観光振興上の重要 な地域とします。

赤浜地域のまちづくりとしては、高台に住宅エリア、その中心に公共施設、海に近いエリアは産業・業務エリアや緑地公園を配置



2. 赤浜の将来像Aグループ周辺



Bグループ周辺



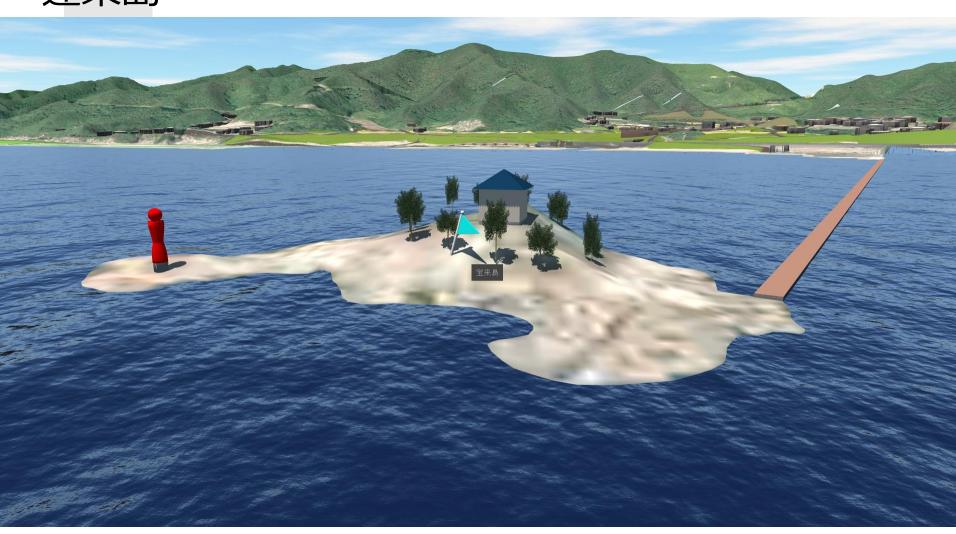
Cグループ周辺



港周辺



蓬莱島



3. 地域活動事例

防災・福祉の分野では自助、公助、互助、共助という言葉がある。 まちづくりでも、「自」、「公」に加えて、「互」、「共」のまちづくり(地 域活動)が必要である。

仲間が集まり行う活動

- お茶っこの会
- ・ママ友サークル など

地域住民が協力して行う活動

- 高齢者の見守り
- ・道路や公園の清掃・管理 など

三のまちづくり

のまちづくり

公のまちづくり

個人で行う

- ・住宅の建設
- ・店舗の建設 など

町の事業として進める

- ▪道路整備
- -公園整備
- 復興事業 など

赤浜地域では、既に、地域活動に取り組んでいる。

例えば、公民館事業推進協議会では以下のような 地域活動を行っている。

県道吉里釜線清掃作業

ゴミ拾い&草刈り等 参加人数110名

常楽院周辺清掃作業

庵寺周辺の草刈り等 参加人数120名

八幡神社周辺清掃作業

ゴミ拾い&草刈り等 参加人数90名

他地域でも地域活動が行われている。

茨城県牛久市つつじが丘地区の買い物サポート事業

牛久市つつじが丘行政区・第二つつじが丘行政区では、運転できない高齢者等の駅や商業施設への無償移送を行っている。



移送サービスの窓口 (地区社会福祉協議会:小学校区)

燃料費等の実費相当を負担 (1回50円)

利用者 (事前に登録) 送迎

ボランティア運転手 (事前に登録)

予約内容を伝 える

吉里吉里地域

平成25年度の地域復興協議会結果を踏まえて、地域活動に取り組んでいる。

課題	平成26年度の取り組み
①子育て環境づくり	サマースクール(両親が働いていても、しっかりと子どもを育てる環境を地域でつくりたい。約50名の児童が参加)
②地域の人が働ける場づくり	吉里吉里マルシェ(地域で経営する商業施設をつくる前に、まずは、震災前の朝市復活とあわせて、イベント的にマルシェを実施)
③高齢者が暮らしやす いまちづくり	移動販売車による食品等の販売
④みんなが集まれる場	交流サロン・飲み屋等の設置(若い世代が集まる場づくり)
づくり・機会づくり	吉里吉里大運動会の復活
⑤吉里吉里をPRする	各種イベント/地域ブランドづくり/マップ作成
⑥古くからの吉里吉里 を継承する	伝統芸能等の活性化(吉里吉里甚句のDVDを作成等)

4. グループ協議の進め方

①赤浜の将来像

復興計画基本計画での位置づけを踏まえて、赤浜をどのようなまちにしたいか、付箋に書いてアイディアを出し合い、グループで意見交換を行います。

②生活像

3つのグループに分かれ、それぞれのエリアでの 生活をイメージしてください。

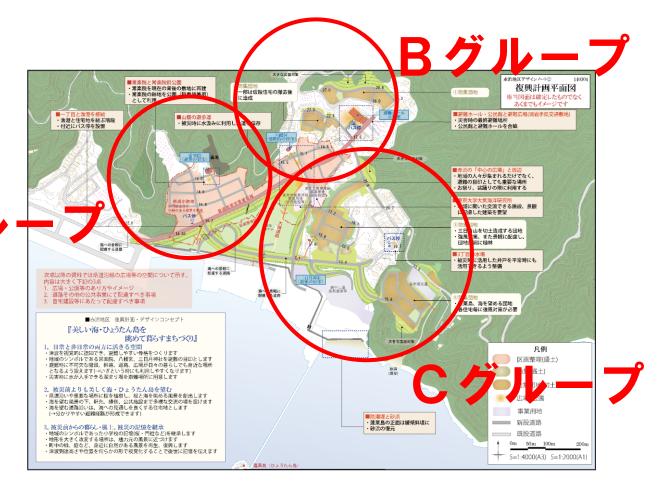
そのうえで、付箋に書いて、まちについての課題やアイディアを出し合い、グループで意見交換を行います。

生活像をイメージするヒント

- ①買い物などをするお店などはどこにあるべきか?
- ②赤浜全体の住民が集まる場はどこか?
- ③近隣の住民は、近場でどこに集まるか?
- 4散歩はどのようなルートでするか?
- ⑤お年寄り、子育て世代のサークル活動はどこで?
- ⑥他地域には、どこからバスに乗っていくか?

グループ区分

自分の住んでいるエリアや住みたいエリアを踏まえてグループに分かれてください。



Aグル